

試薬キット開発のバイオベンチャー、AKJグローバルテクノロジー(千葉市、小出和弘社長)は、血液や唾液中に含まれる微量の金属類を検出する測定キットを開発した。バイオ系の研究機関に研究用の試薬として売り込む。今後、検出できる物質の種類を順次増やし、2013年3月末までに尿酸や中性脂肪などを測定する20商品を追加する方針だ。

## AKJグローバルテクノ

# 生体の微量金属 検出キット開発

鉄や亜鉛、鉛、カドミウムなどの物質を検出できる。価格は対象とする物質によって異なるが3万1000〜7万9800円。1セットあたり、50〜500回測定できる。



血液中の亜鉛を検出するキット

## 尿酸・中性脂肪も対象に 来春までに20商品追加

緩衝液と呼ぶ薬剤で血中のたんぱく質と金属を分離、さらに対象物質を検出すると発色する「キレート剤」と混ぜ合わせる。分光光度計と呼ばれる装置で色の違いを比較し、血清に含まれる対象物質の濃度を測定する。従来方式の原子吸光度計を使う測定は装置が2000万〜3000万円と高額だった。多くの大学や病院、製薬会社の研究部門などはこの工程を外注しており、時間と費用がかかっていたという。

AKJグローバルテクノロジーは10年5月の設立。岩手県に置いた研究拠点で検出キットなどを開発し「メタロジェニックス」のブランド名で販売している。

12年3月期の売上高は1000万円強になる見通しで、最終損益は「黒

検出キットを使えば「10分程度で結果を出せる」(高橋専務)。独自技術を用いた対象物質に対するキレート剤の感度を高めた。取り扱う人の技術水準による結果の差異を抑え、初心者でも扱いやすいよう工夫し

字に転じる」(高橋専務) 売上高3500万〜4000万円を目指す。見込み。13年3月期には